



【プロフィール】大野治美さんは広島県出身。大学卒業後、病院や福祉施設の管理栄養士として勤務後、栄養士・管理栄養士養成校や医薬基盤・健康・栄養研究所の特別研究員を経て、2021年から現職。博士(学術)。管理栄養士。健康運動指導士。好きな食べ物はプリンとマンゴー。

七五三の千歳飴に込められた願いとは？

担当・桐生大学医療保健学部栄養学科講師 大野 治美

食と栄養の

桐生大学医療保健学部栄養学科

情報定期便

No.024

「七五三」は、人生の節目に子どもが健やかな成長を祈願する通過儀礼の一つです。子どもが無事に育つことは大きな喜びであり、親として健やかな成長を願わずにはいられないものです。

その由来は平安時代に行われた三つの儀式にあるといわれています。平安時代、3歳までは男女とも坊主頭で育てる風習があり、髪

の毛を伸ばし始めた3歳に「髪置(かみおき)」の儀が行われました。また男の子が5歳で祝うのは「袴着(はかまぎ)」の儀といわれ、当時の正装とされる袴を初めて身に付けて、少年の仲間入りをしています。7歳の女の子が着物

のひもから帯を締め、物で一人前とみなされるのが「帯解(おびとき)」の儀です。かつては宮中や公家、武家の間で行われていたが、江戸時代になると町人の間でも行われ、明治時代に現在のよう

平安時代の三つの儀式

【材料(2人分)】
さつまいも小1本(250g)、千歳飴2本(30〜45g)、水大さじ3、しょうゆ小さじ2、黒ゴマ(お好みで)適量

①さつまいもは、一口大の乱切りにして、5分程度水にさらしておきます。千歳飴

は短く切っておきます。(切りにくい場合は、600Wの電子レンジで20秒程度加熱すると切りやすくなります)

②炊飯器に水気を切ったさつまいも、千歳飴、水、しょうゆを入れ、早炊きモードで加熱します。

③好みで黒ゴマをふりまします。



保健・福祉

手足口病患者が急増

赤く色を変えたハナミズキの葉が庭先を飛ばされてきました。季節の移ろいを感じられます。桐生地区では手足口病患者数を急速に伸ばしており、定点医療機関当たり

はやってる病気は？

11・60人/週となっており、手洗いなど感染対策に努めてください。

新型コロナウイルス感染症は落ち着いた状況ですが、インフルエンザの報告数がわずかながら増え始めており、今後注意が必要で

(28日、桐生市医師会)

群馬県の感染症サーベイランス (10月14〜20日)

疾病名	3週間前報告数	2週間前報告数	1週間前報告数	今週の報告数
インフルエンザ	27	28	38	43
新型コロナウイルス感染症	346	284	240	176
RSウイルス感染症	6	8	9	3
咽頭結膜熱	18	24	18	11
A群溶連菌咽頭炎	57	51	57	51
感染性胃腸炎	115	158	142	156
水痘	5	5	8	6
手足口病	371	461	663	749
伝染性紅斑	5	4	10	15
突発性発疹	16	15	21	11
ヘルパンギーナ	19	17	15	13
流行性耳下腺炎	3	0	2	3
急性出血性結膜炎	0	0	0	0
流行性角結膜炎	5	3	2	0
細菌性髄膜炎	0	2	0	1
無菌性髄膜炎	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	9	17	16	9
クラミジア肺炎	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0
風疹	0	0	0	0
麻疹	0	0	0	0
百日咳	1	6	1	1